



ステーションが 発案するコンクール

～ポピュラーの効用を
一貫して提唱しつづける、
TOKYO ポピュラーステーションの活動～

文：倉持欣幸

今夏のコンペティションで特級グランプリを獲得したのは、角野隼斗さん。現役の東京大学大学院生ということもあって話題を一身に集めた。

その角野さんは、さかのぼること5か月前、あるコンクールでやはり最高位を受賞していた。その名も「クリスタル☆Pianoコンクール」。クリスタルの多面体のように、きらめく無数のアイデアや創意工夫に満ちあふれている。あるステーションがなければ決して始まることのなかったコンクールだ——佐土原知子先生が代表のTOKYOポピュラーステーションである。



第1回クリスタル☆Pianoコンクール表彰式にて。
クリスタル大賞を角野隼斗さんが受賞した。
会場：銀座ラウンジ ZERO

佐土原知子先生は一貫して、ピアノレッスンにポピュラー曲を併用することの効用を提唱し、主張し続けてきた。生徒の「弾きたい！」という気持ちに



佐土原知子先生
(TOKYO ポピュラーステーション代表)



ステップで定番となったドラム、ベースとの共演企画は毎年すぐに定員に達する人気ぶり

応えるために、全国に「ポピュラー活用法」の啓蒙をしていこうと本会報にて連載記事を担当し始めたのが1998年、今から20年前のことである。

2003年には、ステップ課題曲の中にカテゴライズされていなかったポピュラーについて、122曲の選定、体系化(ジャンル分けとレベル分け)や録音という、気の遠くなる作業を行う。

次に必要になるのは、「課題曲」を演奏する場所だった。2004年には、「TOKYOポピュラーステーション」の代表に。ステップでは、ドラ

ム・ベースとのアンサンブルを常態化し、大人気企画となった。

その後、名古屋など各地にポピュラー系ステーションが広がり、2017年には同じ都内に「城東ポピュラーステーション」が新設された。さらに、「天空ランチコンサート」など、ピティナにとって新鮮な企画の推進役を担うことも。この過程で、丹内真弓先生（正会員）をはじめ、優れた運営スタッフでもある会員の先生方の賛同と協働に恵まれた。

一方、ピティナのステージでポピュラーを演奏する学習者が増えてくると、ステップの23段階だけではなく、コンクールが欲しいという声が高まってきたという。ピティナ自体が、ポピュラーのコンクールを行うための目的の設定や運営者の確保を行うには、無数のハードルが課せられていたところ、2010年から始まった提携コンクールの仕組みに則っての新コンクール立案が着々と進んだ。そして2018年3月、「第1回クリスタル☆Pianoコンクール」が誕生したのである。

「いま生きている音楽を楽しむ」「演奏前に自己PRタイム」「結果発表はSNSで」「褒賞名はクリスタル、エメラルドなど宝石の名前」といった斬新な発想がちりばめられ、審査員は、小原孝氏を

始め、この分野の第一人者が並ぶ。

第2回からは、念願だった「アレンジ部門」（自編曲による参加）が創設された。さらに回を重ねた後には、地方から東京へ駒を進める2段階制への構想もあるという。

ピティナ・ピアノステップにおいて、すっかり市民権を得た「ポピュラー」。課題曲選定の方針が変わったこともあるが、今後はさらに自由自在に選

曲・演奏されていくことだろう。ピティナのステージで学ぶすべてのポピュラー音楽ファンが、ステップと合わせ、このコンクールにもチャレンジしてもらうことを願う。

執筆者として、セミナー講師として、そしてステーション代表として20年にわたり活動してきた佐土原知子先生の、こだわりぬいた渾身の一手に、全国の指導者が注目している。

第2回 クリスタル☆ Piano コンクール

■主催：ピティナ TOKYO ポピュラーステーション／
クリスタル☆ Piano コンクール実行委員会

■日程：

2019年3月30日（土）
B2 部門（小学4年生以下、9,000円）
B1 部門（小学6年生以下、9,000円）
C 部門（高校生以下、10,000円）

3月31日（日）
A2 部門（未就学児、8,000円）
A1 部門（小学2年生以下、8,000円）
D2 部門（大学生・一般、10,000円）
D1 部門（大学生・一般、11,000円）

アレンジ部門（2019年4月1日時点で満12歳以上の方、9,000円）

■審査員：小原孝、丹内真弓、橋本晃一、鈴木奈美

■会場：銀座ラウンジ ZERO

※2018年11月1日（木）より
「ピティナ提携コンクール」Web サイトにて受付開始！



クリスタル☆ Piano コンクール 説明会&課題曲解説

■講師：佐土原知子／丹内真弓
■日程：2018年12月4日（火）10:15～12:30
■会場：東音ホール（東京都豊島区巢鴨）
■主催：TOKYO ポピュラーステーション
■共催：城東ポピュラーステーション

